

一連の 金融緩和的な動き



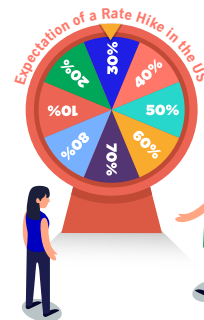
2019 Rate Hikes

FRB（米連邦準備制度理事会）の金融緩和的な姿勢を受けて、主要先進各国の中央銀行も同様のスタンスに傾斜しています。



欧州の緩やかな経済成長や米国の力強い回復を背景に、今後、数カ月以内における世界的な景気後退リスクは低下したと考えられます。

FRB や主要先進各国の中央銀行による金融緩和的な動きを受けて、私たちは、2019年の米国の利上げ確率を30%に引き下げました。



2019年は、相場が大きく変動する年になるでしょう。年初に見られた先行きの不透明感は、年半ばにかけて一旦、収まると予想しています。ただし、米国の景気減速感が出始めると予想される2020年の秋口にかけて、市場の価格変動性は高まる可能性があると考えています。このような局面においては、柔軟かつ迅速な対応が求められると考えます。



フランシス・ドナルド
マクロ経済ストラテジーヘッド
マニライフ・アセット・マネジメント

※マニユライフ・アセット・マネジメントは、カナダのグローバル金融サービス企業であるマニユライフ・ファイナ
ンシャル・コーポレーションの資産運用ビジネス部門です。

[当資料に関する留意事項]

- 当資料は、情報提供を目的としてマニユライフ・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」といいます。）
が作成した参考資料であり、特定の有価証券等の取得勧誘や売買推奨を行うものではありません。
- 当資料は、信頼できると判断した情報に基づいておりますが、当社がその正確性、完全性を保証するものでは
ありません。
- 当資料の記載内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更される場合があります。
- 当資料のいかなる内容も将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。
- 当資料の一部または全部について当社の事前許可なく転用・複製その他一切の行為を行うことを禁止させていた
だきます。
- 当資料に記載された見解・見通し・運用方針は作成時点における当社の見解等であり、将来の経済・市場環境の
変動等を示唆・保証するものではありません。

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第433号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会